

「山都町の魅力再発見」

1. 探求の動機および目的

現在山都町は15歳未満が約1500人に対し、65歳以上が約6500人と熊本県で二番目に少子高齢化が進んでいます。その状況を知り山都町の魅力をもっと多くの人に知ってもらいたい、山都町を活性化させたいと思いました。そのためにはまず町民の意見を聞くことが大事だと考えました。特にこれからの山都町を担っていく若い人たちに意見を聞き、山都町の活性化につなげようと思ったからです。

2. 探求の方法

①山都町の小・中・高校生にアンケートを実施

②アンケートをもとに山都町を活性化させるために必要なことをグループで考える

③役場に提案

◎アンケート内容

山都町のことが好きか嫌いか・その理由・魅力・今の山都町に必要なことの4項目

◎アンケート対象学校

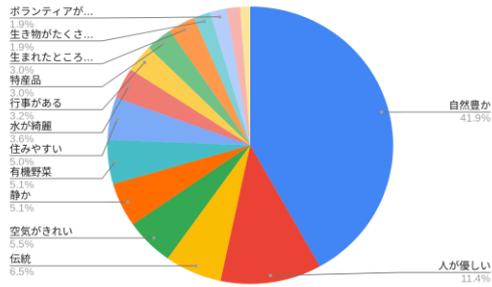
清和小（5, 6）・矢部小（5, 6年生）・清和中・矢部中・矢部高校 合計（388）名

3. 探求の活動結果

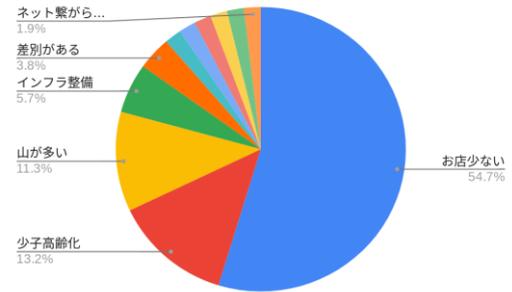
①アンケート結果

山都町が好き	345人	山都町が嫌い	43人
自然豊か	220	お店少ない	29
人が優しい	60	少子高齢化	7
伝統	34	山が多い	6
空気がきれい	29	インフラ整備	3
静か	27	差別がある	2
有機野菜	27	知名度が低い	1
住みやすい	26	目立つものがない	1
水が綺麗	19	交流が少ない	1
行事がある	17	バス少ない	1
特産品	16	住みにくい	1
生まれたところだから	16	ネット繋がらない	1
生き物がたくさんいる	10		
ボランティアが多い	10		
景色	8		
アウトドアができる	6		

好きな理由

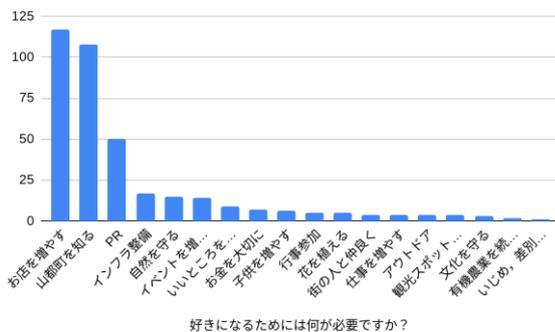


嫌いな理由

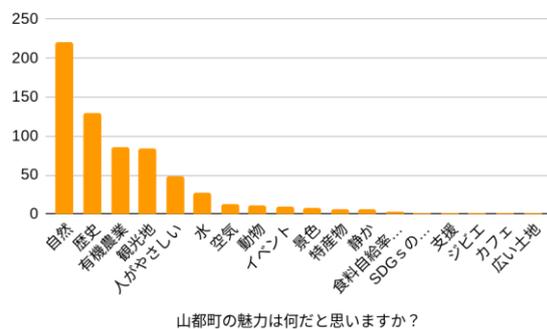


好きになるためには何が必要ですか？		山都町の魅力は何だと思いますか？	
お店を増やす	117	自然	221
山都町を知る	108	歴史	130
PR	50	有機農業	86
インフラ整備	17	観光地	84
自然を守る	15	人がやさしい	48
イベントを増やす	14	水	27
いいところを見つける	9	空気	12
お金を大切に	7	動物	11
子供を増やす	6	イベント	9
行事参加	5	景色	7
花を植える	5	特産物	6
街の人と仲良く	4	静か	6
仕事を増やす	4	食料自給率120%	3
アウトドア	4	SDGsの取り組み	2
観光スポット増やす	4	支援	2
文化を守る	3	ジビエ	2
有機農業を続ける	2	カフェ	1
いじめ、差別をなくす	1	広い土地	1

好きになるために必要なことグラフ



山都町の魅力グラフ



②この結果を受けて、山都町役場の教育委員会に意見を提案



③私たちが考えた3つの提案

◎お店を増やす

その具体的な案として、九州には福岡の1店舗しかなく、若者を中心として人気のIKEAを提案しました。提案した理由は、広い土地のあるこの山都町にIKEAを作れば、山都町民はもちろん、県内民、そして県外の人でもIKEAを求め、山都町に多くの人々が集まり、活性化につながると考えたからです。



◎自然を守り、魅力を発信

自然を守り、魅力を発信するという観点から、お花畑を作ることです。

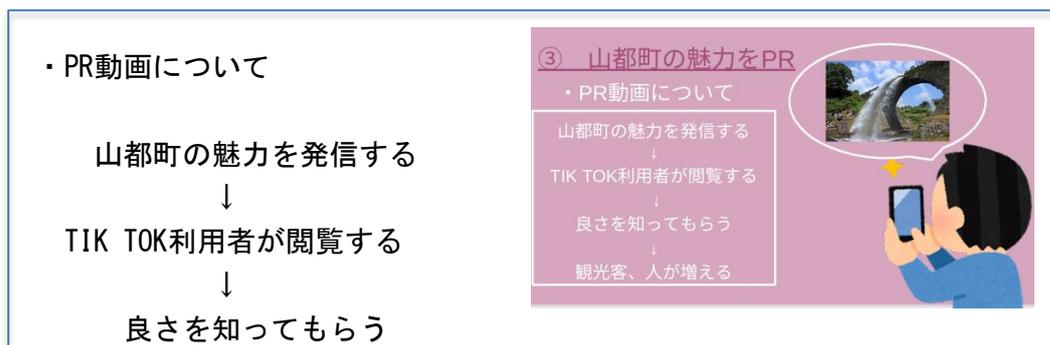
嘉島町にはひまわり畑があり、夏には美しいひまわりを見に観光客や、写真を撮りたい人、主に若者の観光客がたくさん訪れていました。その嘉島町のひまわり畑を参考にして、山都町の広い土地と涼しい気候、自然がたくさんあるという魅力を活かして、山都町にお花畑を作ることを提案しました。



◎山都町の魅力をPRする

山都町の魅力をPRするという観点からPR動画を作成することです。最近ではTIKTOKというショートムービーを無料で見られるアプリが若者を中心に流行しています。そのアプリを利用し、自分の町の魅力を発信し、町の良さを全国に発信しているユーザーもいます。そこで

山都町もTIKTOKを利用して山都町のいいところや魅力を発信することで、見た人たちが観光に来てくれるという可能性があると考えたからです。



④山都町役場と意見交換をした結果

山都町役場に4つの提案と意見をいただいた

1つ目は、林業科学科の「好きっ！通潤パズル」の大量生産

このパズルはテレビで放送したところ、放送中にすべて完売という大ヒットを起こしました。そこに役場の方は目を付け大量生産し、たくさんの人にパズルを買ってもらうことで山都町の知名度をあげられるのではないかと意見をくださいました。

2つ目は、山都町のYouTubeチャンネルにゲストとして参加

高校生が山都町のYouTubeにゲストとして出ることで、若い世代の視聴者を獲得できるし山都町魅力発信にもつながるといった意見をくださいました。

3つ目は、矢部高校で栽培した花をお花畑で利用し、新しくできる高速道路付近に作る

お花畑を作るなら高速道路の近くに作ることにより、お花畑を見に来てくれた人はもちろん高速道路を通った人もお花畑を見ることが出来るのでより観光客が増えるのではないかと意見をくださいました。また、矢部高校のお花を使うことにより、矢部高校の宣伝にもつながると教えて下さいました。

4つ目は、矢部高校とのコラボ商品などといった山都町でしか買えないものを増やす

普通のお土産ではなく山都町でしか買えない、山都町の特産物を使うことにより希少価値が上がり山都町の特産物を知ってもらうことにもつながるといった意見を出してくださいました。また、矢部高校とコラボすることにより3つ目と同じで矢部高校の宣伝にもつながると教えて下さいました。



4. 今後の目標

提案した3つの案の実現のため役場からいただいた提案と意見を参考にこれからの活動を明確にしていこうと思います。

また、アンケートの協力をいただいた小中高校生にアンケート結果とそのアンケートをもとに私達が考えた提案を伝えます。

5. 活動を通して学んだこと

目的を立てて課題解決のために取り組むこと、簡単そうに見えるけど手間と時間がかかる事がわかりました。先に計画を立ててグループのみんなで協力することが大切だと思います。また、アンケート結果から、山都町の若い世代の多くの人が山都町に対して店を作るなど同じ思いを抱いていることがわかりました。自分たちの手で山都町を活気のある町につくりあげていきたいです。